

【科目情報】

授業コード	1FCB212010	科目ナンバリング	FCALAW81019-J2
授業科目名	商法総合演習A（企業組織法）		
担当教員氏名	高橋 英治		
開講年度・学期	2022年度前期	曜日・時限	木曜5限
授業形態	演習		
単位数	2単位		

【シラバス情報】

授業概要	<p>この授業は演習形態で行われる。本演習では、商法総則・会社法の基礎知識を小テストおよび判例研究を通じて習得することを目的とする。本演習は、大きく二部構成をとる。まず、前半30分で小テストを行う。希望者には小テストの答案を個別に採点・コメントし、論述能力を高めるように指導する。また、小テスト終了後には、論述力を高めるように、解答のポイントを示す。後半は判例研究である。報告者は担当判例を、最高裁判例の場合、事案と第1審・第2審と最高裁の判示の要点を報告する。報告の後、参加者全員で議論する。</p> <p>商法総則・会社法の復習の回（2回）では、商法総則・会社法の重要論点につき、高橋英治が解説しつつ、参加者に質問する。商法総則・会社法の復習の回では、小テスト・判例研究は行わない。</p>
到達目標	<p>法曹実務では、会社法のテキストや判例集とピッタリと当てはまる事案の解決を求められるとは限られない。本演習で、会社法の基礎知識を身につけ、小テストで、会社法上の問題の解決方法を学ぶことにより、法曹実務家として活躍できる基礎を、参加者において確立する。また、判例研究では、法曹実務家として重要なリーガルリサーチができるように、その方法を取得する。これにより、未知の商法総則上・会社法上の問題についても、自分で、判例やテキストや注釈書を用いて、その解決方法を見つけられることができる。</p>

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第2回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第3回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第4回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第5回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第6回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第7回	商法総則・会社法の復習・質疑・応答	教科書を用いた予習・復習
第8回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第9回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読

第10回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第11回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第12回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第13回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第14回	商法総則・会社法の復習・質疑・応答	教科書を用いた予習・復習
第15回	小テスト・判例研究	教科書を用いた予習・復習、判例の熟読
第16回	期末試験	試験問題の解答方法の研究

事前・事後学習の内容	事前に指定された範囲で、教科書を読み込んでおくことが事前学習であり、小テストについては、模範解答を読んだ上で、もう一度何も参照しないで、解いてみることを事後学習として求められる。
-------------------	---

成績評価方法	絶対評価 報告 30% レジュメ作成 30% 学期末の試験 30% 演習における議論への参加、質問への答え 10%
履修上の注意	本演習の小テストの成績が、回を追う毎によくなるように努力してほしい。私も、答案を返却する際に、一言アドバイスをするので、参考にしてほしい。
教科書	高橋英治『会社法概説（第4版）』（中央経済社、2020年）、藤田勝利＝北村雅史編『プライマリー商法総則・商行為法〔第4版〕』（法律文化社、2018年）、江頭憲治郎・岩原紳作・神作裕之・藤田友敬編『会社法判例百選（第3版）』（有斐閣、2016年）、江頭憲治郎・山下友信編『商法（総則商行為）判例百選（第5版）』（有斐閣、2008年）
参考文献	高橋英治編『プリンシプル会社法』（弘文堂、2020年）、高橋英治編『商法入門』（法律文化社、2018年）、高橋英治『会社法体系』（中央経済社、2022年出版予定）
その他	